

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布してい

全国聴覚障害者情報提供施設協議会の総会・大会に参加しました。



富山県聴覚障害者センターが会員となっている、「NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会」の、2016年度総会・第12回(通算第24回)大会が、6月23日(木)～24日(金)、大阪市にて開催されました。50施設の会員から今回は49施設が出席、賛助会員を含め82名の参加でした。

昨年度の事業として、難聴者・中途失聴者支援について現状と課題がまとめられたこと等が報告されました。

大会では、「合理的配慮に関して情報提供施設の果たすべき役割」をテーマに、松本晶行氏の講演の後、全日ろう連、全難聴、厚労省専門官三名のシンポジウムが行われました。松本様晶行氏の講演からは、「障害のある人となない人のふれあいが減ってきているのではないかと指摘され、視覚障害者の職場復帰を実現した



二見調停裁判の事例をもとに、合理的配慮の工夫で共生社会をつくろうと呼びかけられました。また、平成2年の身体障害者福祉法改正により聴覚障害者情報提供施設の設置が規定されたが、それから26年間基準が変わっていないことが指摘されました。字幕・手話入り映像の制作貸出事業をどう見直してい

くかが課題です。二日目は、ブロック会議が行われ、来年度から富山が入っている第一ブロックを<北海道・東北>と<北信越>の二つに分ける予定が決まりました。社会福祉法改正への対応についても話し合われました。

来年の総会・大会は、関東地区の茨城県施設が担当して開催することになりました。

センター利用の実績 6月21日～7月20日

- 来所者合計約566名
聴障者約253名、健聴者約313名
- コミュニケーション支援コーディネート101件
- ライブラリー貸出 3件6本
- 相談対応11件 ●部屋貸出48件

★センター運営募金・募集★
郵便振替口座；
00790 - 0 - 93002
名称；富山県聴覚障害者
センターを支える会

